

令和4年度米子市文化ホール運営委員会議事録 概要

令和5年2月16日(木) 午前10時～

米子市役所4階 401会議室

開会

秋田会長挨拶

事務局、3ホール館長・副館長、運営委員自己紹介

議事

議案1 令和4年度自主事業の実施状況について資料内容の説明・報告

委員

新型コロナウイルス感染拡大による4年度のキャンセル率はどのくらいであったか。

公会堂

率は算出していないが、4年度、5年1月までの貸館のコロナに関わるキャンセルは、この1月までで全館で288件、うちホールは17件。3年度の同時期は大ホールのキャンセルが36件であることを考えると回復してきている。

文化ホール

3年度のキャンセル数は資料の20ページにまとめている。4年度の件数はまだまとめていないが、公会堂と同様キャンセルは減少している。利用者からは「どのような対策をしたら開催できるのか」という相談が多い。これまで同様、感染対策をした上で客席の半減、さらに着席の間隔を空ける、発声をしない等提案し、できるだけ開催できるよう対応した。

淀江文化センター

令和4年1月までの利用件数までの利用件数は757件、コロナに関するキャンセルは116件であった。令和5年度は1月までの利用件数は802件、キャンセル数は40件と昨年度よりキャンセル数はかなり減少している。

議案2 令和3年度事業報告及び5年間の運営状況の推移について資料内容の説明・報告

委員

・コロナ禍で事業収益が下がっており、令和2年度に関しては、元年度に比べてほぼ半減している。令和3年度はほぼ持ち直したとはいえ3分の2程度である。収益が減少した中、どのよ

うに各ホールは運営を行っているのか。

事務局

コロナが原因によるキャンセルによる収入減については、市が補助金を交付し、その補助金で各ホールは運営継続の対策を実施した。令和2年度、3年度は補助金を交付した。

委員

平成29年度30年度は収益が横ばいだが、その収益で運営できていることだろうか。

事務局

貸館の利用料のみではなく、市が米子市文化財団に指定管理を委託しており、その指定管理料と収入によって各ホールの運営を行っている。例年米子市文化財団が予算を市に提出し、それを参照し、市は指定管理料を決めている。指定管理料と利用料収入により各ホールは運営を行っている。

議案3 令和5年度自主事業計画（案）について資料内容の説明

委員

- ・SNSでの拡散は非常に効果がある。ホールの利用者に情報発信を依頼することを提案したい。その際、各ホールは正しい情報を提供することが必要である。
- ・先日参加した公民館の研修でもSNSでの情報発信は非常に効果について紹介されていた。今後、積極的なホールの情報発信についてもお願いしたい。
- ・キャパシティの制限、イベントの規模の制限など今後の方向性が知りたい。
- ・児童が通う学童施設は土日開けている施設もあるが、そういった所にもイベント情報が届くよう検討願いたい。

公会堂・文化ホール館長

- ・キャパシティについてはかなり緩和され、令和5年2月1日からは、感染防止の対策を行った上で収客100%が可能になった。今後、県の政策に合わせて施設も対策を実施する。現在各ホールとも人数制限はない状況で利用可能である。
- ・情報提供については行き届いていない所があるので、イベント情報を必要としている施設等を把握して対応していきたい。

委員

学校行事で各ホールを利用している。来年度は文化ホールで小学生向けの劇団四季の公演があるので、ぜひ児童に鑑賞させたい。

その他

委員

- ・だんだん広場が県から市に移管されたとあるが、今後の利用について総括的に計画ができているのか。
- ・文化ホールのオープンスペースは駅と市街地、文化ゾーンをつなぐ道をイメージして造られたが、駅との間が高架で遮られた形になった。オープンスペースは今後、利用方法が決まっているか。

事務局

だんだん広場は所有は引き続き県、管理は米子市になる方針である。具体的な方策については、今後策定される。JR 米子駅南北通路の5年夏にオープンに併せ駅前エリア、文化ホール周辺等でイベントを実施する予定である。米子市は、駅前エリアから中心市街地にかけて歩いて楽しめるようなまちづくりを計画中である。

公会堂・文化ホール館長

米子駅のリニューアルオープンやウォークアブルなまちづくり計画で、文化ホールのオープンスペースも活用する予定があり、5年度予定しているミュージックフェスの会場としても考えています。コンベンションセンターとの連携、彫刻ロードにむけての通り道など、活用を今後計画していく。

モニタリングについて事務局から説明

閉会